

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	72.8%	○				
数学	59.8%		○			
英語	56.0%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%	○				
書くこと	82.6%					○
読むこと	72.2%		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%	○				

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ問題が全国平均を下回っていました。話合いの中で何を問題としているのかを明確にすることに課題があるので、課題の解決を図る話合い活動を増やし、流れを踏まえて話し合うことを意識付けるような指導を行っていきます。さらに、国語科だけでなく、学校生活全体を通して、話合い活動の場を積極的に設定していきます。
- 「書くこと」では、相手に伝わるように、適切な情報を用いて、意見文に具体例を書き加える問題の正答率が全国平均を上回っていました。今後も生徒が書いた文章を相互に読み合うといった活動を通して、より良く相手に伝わる文章を考えさせる指導を行っていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%					○
図形	72.4%	○				
関数	40.8%				○	
資料の活用	56.3%	○				

【考察】

- 「図形」の領域では、証明の根拠として用いられている三角形の合同条件の問題や、結論が成り立つための前提や新たな事柄を使って説明する問題が全国平均を下回っていました。合同な図形を見つけるのに、単に直感的にとらえるのではなく、与えられた条件を使い、論理的に判断できるように練習を繰り返していきます。さらに、説明や証明に対して苦手意識をもっている生徒が多いので、授業で自分自身の考えを相手に説明する活動を積極的に積み重ねることで、理解を深めさせていきます。
- 「数と式」の分野では、連立方程式を解く問題、予想が成り立つ理由を筋道を立てて説明する問題の正答率が全国平均を上回っていました。基本的な計算技能については身につけています。さらに、理由を数学的に説明する場を、授業や定期テストに取り入れることで、理解を深めさせていきます。また、日頃から自らの疑問を進んで解決しようとする意欲を育てていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%	○				
読むこと	55.6%			○		
書くこと	45.8%	○				

【考 察】

- 「聞くこと」の領域では、英語によるスピーチや天気予報を聞いて、必要な情報を理解する問題が全国平均を下回っていました。聞き取った英語の内容から、必要な情報を選び出したり、関連させて考えたりできるように練習を繰り返していきます。さらに、日頃から、英語で話したり、身近なことを簡単に英文で書かせたりしながら、英語で表現する力をつけさせていくような指導を行っていきます。
- 「読むこと」では、日常的な話題について書かれた内容を読み取る問題の正答率が、全国平均を上回っていました。簡単な英文の内容を正確に読み取る力が身についています。今後も数多くの英文に触れさせ、さらに、読み取った英文の感想を書く活動を通して、理解を深めさせていきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中 3	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
	大信中	22.9	40.0	31.4	5.7

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比べて、計画的な学習ができています。定期テストでは計画表を作成し、計画的に学習を行うことができています。今後は、各種テスト、入試に向けて個々に目標をもたせ、計画を立てられるよう支援していきます。
- 限られた時間を有効に活用する意識を向上させて、自主学習の内容の充実にも努めていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
	大信中	14.3	31.4	45.7	8.6	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 30分未満の生徒はいません。また、時間をかけて家庭学習に取り組んでいる生徒が多いです。家庭学習の習慣は身につけているので、今後は、学習内容の工夫にも力を入れ、家庭学習の充実にも努めていきます。
- 家庭学習と授業が密接に関連付けられ、さらに生徒が家庭学習の必要性を感じるような取組を工夫し、支援していきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全 国	4. 8	7. 6	14. 6	23. 4	14. 8	34. 8
3	大信中	5. 7	5. 7	11. 4	40. 0	11. 4	25. 7

(単位 %)

【考 察】

- 朝学習の15分間の読書を行うことで、落ち着いた学校生活を送ることにつながっています。今後は、学校司書との連携を密にし、読書への興味・関心を高めていくようにします。
- 図書委員会の活動のさらなる活発化、地域の図書館の利用促進など、読書環境の整備に努めます。

4 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	18. 1	37. 7	32. 4	11. 6
3	大信中	8. 6	45. 7	37. 1	8. 6

(単位 %)

【考 察】

- 自分の考えを発表することに苦手意識をもつ生徒が多いです。各教科の授業で「自分の考えを発表する場」を積極的に設定します。発表の経験を増やしていくことで、資料や文章から必要な情報を使って発表する力が培われていくよう支援していきます。
- 隣の座席の生徒とのペア学習、グループ学習など、学習形態を工夫しての発表や、委員会活動や防災学習など異年齢集団における発表を通して、発表に対する抵抗をなくし、工夫した発表ができる力が育まれるよう支援していきます。